

# 巻頭言

2012年の春を迎えました。穏やかな春の日差しの下、桜の花が咲き乱れています。昨年の今頃は日本中が悲しみに沈んでいましたが、1年が経ち、ようやく被災地にも少しずつ笑顔が増えてきたように思います。しかし政府の復興事業の遅さを痛感している人は多いのではないのでしょうか。大震災、原発事故という苦難な状況に耐えて立ち向かう日本人の気質、精神性、道徳観に対して世界中が称賛の声を惜しみませんでした。一方で日本政府の遅々とした復興支援に対しては、日本国内だけでなく海外からも失笑を通り越し、冷笑されているように感じます。復興支援だけでなく、外交面、経済面も同じようにちぐはぐな対応が続いており、日本は一体どうなるのかという不安を抱いている日本人は多いのではないのでしょうか？ 実際、中国を訪れてみると日本との違いを実感します。躍進する経済力に伴い中国人が自信を持ち、そしてマナーさえも良くなっているのです。最近、北京の地下鉄に乗ったときのことです。なんと若者から席を譲られたのです。この歳で席を譲られるとは、と内心ガッカリしながらも若者に感謝して席に座りましたが、昔の中国を知っている者にとっては感慨深いものがありました。

さて、本号は2012年の第2号です。原著が1編ありますが、昨年の学術総会のシンポジウム『心の疾患と中医学』で西田慎二先生が「ストレス関連疾患に対する漢方治療」を発表され、今回、論文としてまとめられたものです。漢方薬や鍼灸による精神神経疾患に対する中医治療は世界的にも注目されており、本論文が1つの指針になることを確信しております。その他に、好評連載中の呉深涛教授の総説「糖尿病慢性合併症の中医治療④／糖尿病性皮膚癢痒症の中医弁証論治」、平馬直樹先生による「基礎理論と方剤を結ぶ入門講座④／脾と胃の病証と治療」、北川毅先生による「中医美容入門⑥／五臓と美容 ～肺の特性と美容～」、柴山周乃先生の「日本人中医診療記 その6」が掲載されており、充実した内容になっています。

2012年4月

日本中医学会理事長

日本中医学会雑誌 編集委員長

酒谷 薫